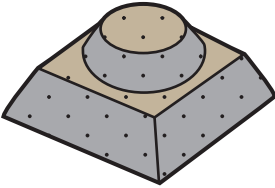


# こふん 「古墳」について調べよう

「古墳」は、約1750年前(3世紀の中ごろ)から、各地の王や豪族をほうむるためにつくられた墓です。ほとんどの古墳は、土をもってつくった小山のような「墳丘」をもち、当時の王や豪族は、大きな「古墳」をつくることによって力の大きさを示したと考えられています。

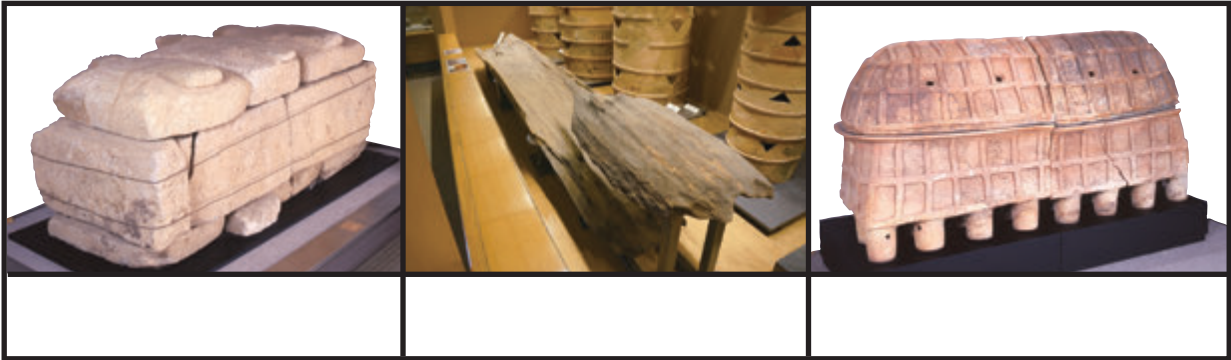
## 古墳の種類

古墳は、「墳丘」の形によってさまざまな種類があります。空欄の古墳に、それぞれの形をスケッチしましょう。

			
円墳	方墳	じょうえんかほうふん 上円下方墳	前方後円墳

## ひつぎ 棺の種類

古墳の中にはさまざまな棺がおさめられていました。何とよばれているでしょう。「第2展示室」や中庭に展示してあるのを探して、その名前を書きましょう。



# 古墳におさめられたもの

古墳の石室や棺には、さまざまな品物がおさめられました。その品物から、王や豪族の力の強さや大陸とのつながりもわかります。

① 次のものを第2展示室で探し出して問題に答えましょう。

4-2

 <p>しゃりんせき 車輪石 これは何でできていますか。</p>	 <p>名称は ( ) どんな色があるでしょう。 ( )</p>
 <p>どうぎょう ないこうかもんぎょう 銅鏡 (内行花文鏡) 古墳によっては 30 枚以上の鏡がうめられていました。なぜ鏡を古墳におさめたと思いますか。</p>	 <p>かっちゅう 甲冑と刀 何で作られていますか。 ( )</p>

② 「藤ノ木古墳」(斑鳩町)におさめられていたものを観察しましょう。

 <p>こんどうせい 金銅製 ( )</p>	 <p>( ) 金具 (後輪)</p>	 <p>こんどうせい 金銅製 ( ) ※復元品が正面入り口にあるよ</p>
<p>○の部分には、それぞれ動物がデザインされています。何でしょう。</p>		

☆古墳についてもっと知りたい人は「映像(ビデオ)ライブラリー」にも行ってみよう!

「時代」→「古墳時代」→「古墳の形態」の順番に画面にタッチ

「分野」→「服装とアクセサリー」→「玉はよみがえる」の順番に画面にタッチ

「発掘調査」→「古墳時代」→「藤ノ木古墳の開棺調査速報」の順番に画面にタッチ